

能登少年自然の家の平成26年度管理状況

施設所管課	教育委員会生涯学習課
指定管理者	一般財団法人石川県県民ふれあい公社 理事長 北村 修
指定期間	平成26年4月1日～平成29年3月31日

1 管理業務の実施状況

業務内容 (協定・条例に規定)	具体的な業務の実施状況
使用する者への利便の提供に関する業務	<p>職員の資質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 石川県青少年教育施設協議会資質向上研修会の受講 <p>利用者の苦情・意見の把握・対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用団体アンケートの実施(69通) ・ 利用者ニーズの反映 (野外炊さん場の道具置き場変更、船外機整備)
利用の促進に関する業務	<p>自主事業の企画・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ のと海洋ふれあいセンターでのスノーケリング体験、「ふれあい昆虫館がやってくる」(ふれあい昆虫館との連携事業)など4事業の実施(参加人数111名) <p>施設の情報提供、広報、広告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページの更新 ・ 主催事業広報用リーフレットの作成・配付 ・ 近郊の小・中学校を訪問し、季節に応じた利用の提案(夏合宿、部活動合宿等) ・ 近郊の公民館、NPO等の各種団体への訪問やダイレクトメールによるPRの強化 <p>体験活動プログラムの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海洋チャレンジプログラムの実施(2回/90名参加) ・ 子ども自然学校の開催(16プログラム/584名参加)
使用の許可に関する業務	<p>使用許可、使用料の徴収、納入</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 使用許可の件数(2(2)参照) ・ 使用料の収入実績(2(3)参照)
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕に関する業務	<p>清掃業務</p> <p>設備保守点検</p> <p>防火管理</p> <p>小規模修繕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 船外機整備、厨房水栓修理など
(その他知事が必要と認める業務)	<p>緊急時の対応・安全管理などの危機管理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急連絡網、危機管理マニュアル、消防計画等の見直し・作成 ・ 職員全員に周知し、適正に管理

2 施設の利用状況

(1) 利用指標

指標	H25年度 (参考)	H26年度	前年度比	増減理由
総利用者数(人)	21,972	22,890	104.2%	利用団体の増加による

(2) 使用許可等の状況

	許可件数	不許可件数	不許可理由
能登少年自然の家	169	0	

(3) 使用料の収入実績

利用料金の収入及び減免の状況

	収入額	減免額	減免理由
食事料	19,813千円	—	
寝具料	1,589千円	—	
暖房料	100千円	—	
その他	347千円	—	
合計	21,849千円		

(4) 収支決算

(千円)

収入		支出	
管理料	35,635	人件費	27,282
利用料収入	21,849	光熱水費	5,237
その他	4,078	修繕費	334
		設備保守	1,299
		食材費	12,119
		その他	12,121
合計	61,562	合計	58,392
収支差額	3,170		

(5) 中期経営目標の進捗状況

中期経営目標(実施期間 H26~H28)

- ① 利用者を3年間で2%増加させます。
- ② 利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。

① 中期経営目標の進捗状況

測定指標	H24 実績値	H25 実績値	H26 実績値	目標値 (H28)
①利用者数（人）	21,994※	21,972	22,890	22,400人
②利用者アンケートによる満足度				
利用者サービス（%）	99.2%	100%	100%	95%以上
施設の維持管理（%）	95.8%	97.5%	97.1%	95%以上

※過去5年間における利用者数のばらつきが大きいいため、実績値をH20～24の平均とした

② 平成27年度における取組内容の見直し等

<ul style="list-style-type: none"> ・ 利用促進に向けた解りやすいホームページへのリニューアル。 ・ 海洋教育推進に向けて、「海洋教育カリキュラム開発プロジェクト」の実施。 ・ 既存の活動のプラス1活動を拡充する。（追跡ハイキング+磯の観察、追跡ハイキング中学生用問題の作成、野外炊さん+火おこし体験等） ・ 閑散期における成人団体の利用促進に向けた、公民館・各種団体等への広報活動の拡充。
--

(6) その他、県が必要と認める事項（管理の実態を把握するために必要な事項）

① 利用者の意見等

ア 利用者アンケート結果（通年実施 有効回答数69件）

項目	回答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス	81.4%	18.6%	0%	0%
施設の維持管理	52.2%	44.9%	2.9%	0%

イ 利用者からの意見、苦情、要望

年月	内容	対応
平成26年	野外炊さん時、道具運搬が大変（複数あり）	大きな道具は炊さん場の管理棟へ
平成26年	洋式トイレが欲しい（複数あり）	改善に向け検討中

② 事故、故障等

年月	内容	対応
平成26年 4～5月	船外機整備	毎年、シーズン前に行っている点検
平成26年12月	厨房水栓修理	修理

③ その他報告事項など

特になし

(7) 評価結果

評価項目	結果	所見（工夫、改善点）
①サービスの維持・向上や利用促進に向けた取組みが行われているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・学校、保育所、公民館等施設利用PRについては、さらに地域を拡げるなど、積極的に行っている。 ・利用者ニーズにあったプログラムの改善や新規開発を行い、実施している。
②施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者の快適性、安全性を考慮し、冷水機や船外機の整備など、施設設備や修繕等に積極的に対応している。 ・施設内は常に清潔に保たれており、適切な管理がなされている。
③適切に管理運営・危機管理を行う組織・体制となっているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の配置が適切になされている。 ・非常時の緊急連絡網、消防計画が定められ、安全対策が適切である。 ・関係機関と連携した救難訓練を計画的に実施している。 ・個人情報保護や宿直業務など、仕様書等に基づき適切な管理運営がなされている。
総合評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・仕様書等に基づき適切な管理運営を行うとともに、施設利用PRや利用者ニーズに対応した施設整備の充実にも、積極的に取り組んでいる。

○ 評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
- B（良）：仕様書等に定める水準を上回っている
- C（可）：概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

○ 総合評価

- A（優）：優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
- B（良）：優れた管理運営がなされている
- C（可）：適正な管理運営がなされている
- D（不可）：改善が必要である

(8) 助言・指摘事項

閑散期（特に秋～冬）の利用促進に向けたプログラム開発とさらなるPR。